

【金井運動用建物】施設利用に際しての予防対策ガイドライン

令和2年5月22日制定

佐渡市農林水産課

新型コロナウイルス感染拡大防止と金井運動用建物（以下「施設」という。）での活動の両立を進めるために、「新しい生活様式」の実践を図りながら、施設内における感染拡大防止対策の基本的な考え方を示すものである。

本ガイドラインは、今後の対応方針の変更のほか、感染拡大の動向等を踏まえ、適宜改定を行うものとする。

1 対策の期間

5月25日から当面の間

2 感染防止のための基本的な考え方

施設管理者は、施設の規模や利用の形態を十分に踏まえて、施設内及びその周辺地域において、施設利用者（以下「利用者」という。）への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、以下の対策を講ずるものとする。

特に①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件（いわゆる「三つの密」）のある場所では感染を拡大させるリスクが高いと考えられることから、これらを避けることなど、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないよう徹底する。

3 具体的な対策

施設管理者は、新型コロナウイルスの主な感染経路である①接触感染、②飛沫感染のそれぞれについて、利用者の動線や接触等のリスクを評価するとともに、実施事業によっては大規模な人数移動等が想定されることもあるため、③集客施設としてのリスクや④地域における感染状況のリスクにも留意し、以下の対策を講じた上で利用させること。

(1) 施設使用における感染防止対策

- ① 人との接触を避け、対人距離を確保（できるだけ2mを目安に）
- ② その他必要な感染症予防対策
- ③ 具体的な対策を講じても十分な対応ができないと判断される場合は、施設使用に係る申請者（以下「主催者」という。）に対して、事業の自粛を促す。

(2) 利用者の安全確保のために実施すること。

- ① 次の項目に該当する方の利用は控えるよう周知する。
 - ・ 37.5 度以上（又は平熱比 1 度以上）の発熱がある場合
 - ・ 息苦しさ、強いだるさや軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合
 - ・ 過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している地域への訪問歴がある場合
- ② 参加者の氏名及び緊急連絡先を把握するため、主催者に対して参加者名簿の提出を求める。また、主催者には、参加者の情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されうることを事前に周知するなど、個人情報を適切に取り扱う。
- ③ 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底を促す。

(3) 施設利用に当たって特に留意すべきこと。

- ① 直接手で触れることができる展示物等は展示しない。
- ② なるべく人との接触を避け、対人距離を確保できる人数に制限する。
- ③ 施設利用中に感染が疑われる者がいた場合、以下のとおり対応する。
 - ・ 速やかに隔離を行う。
 - ・ マスクや手袋の着用等適切な防護対策を講じた上で対応する。
 - ・ 施設の換気を行う。
 - ・ 主催者は職員を通じて保健所に連絡し指示を受ける。

(4) 施設管理

- ① 清掃、消毒、換気を実施する。
- ② 特に、他者と共有するドアノブなど手が触れる場は定期的に消毒を行うとともに、手が触れる機会が最低限となるよう工夫する。（例：ドアを開けておく。）
- ③ 高頻度接触部位（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、蛇口、手すりなど）については、定期的に消毒を行う。
- ④ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。
- ⑤ 清掃、ゴミの廃棄を行う場合は、マスクや手袋の着用を徹底し、廃棄作業を終えた後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う。

(5) トイレ

- ① 不特定多数が接触する場所（便器、床、ドアノブなど）は、清拭消毒を行う。
- ② 清掃者は必ずマスクと手袋を着用し、可能であれば換気しながら清掃を行う。

(6) 広報・周知

利用者に対して、申請時に次の事項を周知する。

- ① 参加者同士の距離を2 m程度取ること
- ② 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
- ③ 健康管理の徹底
- ④ 差別防止の徹底
- ⑤ 本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応

【ご利用前にお読みください】

活動を始める前に参加者全員でご確認ください。活動終了後、確認シート及び当日参加者名簿を利用前に受付に提出してください。

施設で感染者が発生した場合に保健所に連絡できるように使用するものですので、ご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策確認シート

団体名 _____

利用日：令和 年 月 日（ 曜日）

利用時間： _____ ~ _____

	感染症対策確認項目	確認欄
1	37.5℃以上(又は平熱より1℃以上)の発熱症状がみられる参加者はいない。	
2	息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ、軽度であっても咳やのどの痛みなどの症状が見られる参加者はいない。	
3	過去2週間以内に感染が引き続き拡大している地域に訪問した参加者はいない。	
4	全員マスクを着用している。(プレー中はマスクの着用を必須としない)	
5	活動開始前の手洗い、又は手指の消毒を行う。	
6	参加者同士の距離をできるだけ1m(できれば2m)程度空け、手の届く距離に集まらない活動である。	
7	近距離での会話や発声等を控える。	
8	会話程度以上の声は発しない。息が上がる激しい運動は活動から省く。	
9	おすそわけ等、飲食物の共有はしない。	
10	直接、手と手の接触など身体的接触の活動は行わない。	
11	窓を開けて実施するか、定期的な換気を行う。可能であれば2方向の窓を同時に開け、適宜換気を行う。	
12	当日の参加者名簿を作成し、感染者が出た場合に参加者に連絡できる体制をとる。	

○参加者名簿

団体名：

利用日：令和2年 月 日

施設で感染者が発生した場合に保健所に連絡できるように使用するものですので、ご協力をお願いします。

No.	氏名	地区(行政区)	電話	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				